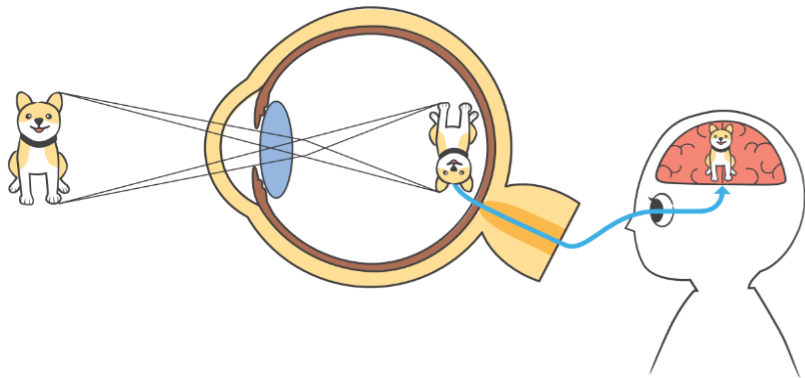


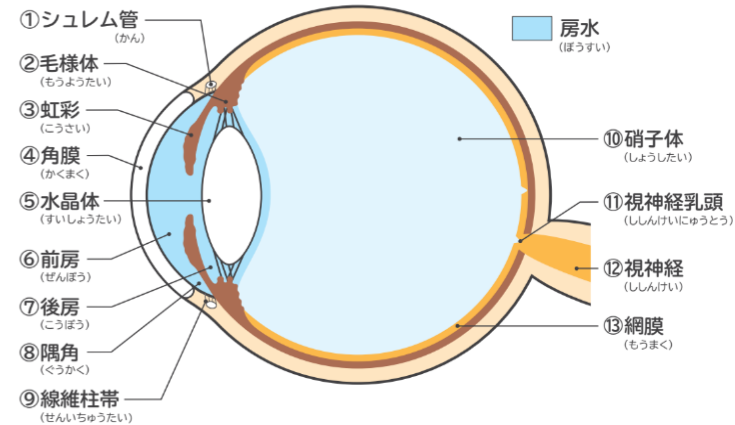
# 01 眼が見える しくみと緑内障

眼は、外から入ってきた情報を眼の神経(視神経)を通して、脳に伝える器官です。緑内障とは、視神経が傷つくことにより、視野(見える範囲)が徐々に欠けていく病気です。



眼はフィルムカメラの仕組みと似ています。

## 知っておきたい! 眼の構造と役割



- ① 房水が静脈に流れ出る排水溝です。
- ② 水晶体の厚さを調整したり、房水を作り出したりします。
- ③ 瞳の大きさを変えて眼に入る光の量を調節します。
- ④ 眼の最表面にある透明な組織で、光を眼の中に取り込みます。
- ⑤ 遠近の調節を行い網膜上に像を結びます。
- ⑥ 角膜と虹彩の間の部分で房水で満たされています。
- ⑦ 虹彩と水晶体の間の部分で房水で満たされています。
- ⑧ 角膜の中側と虹彩で囲まれた部分で前房の隅(すみ)です。
- ⑨ 房水が流れる網目状の組織で、シュレム管へつながります。
- ⑩ 眼球の大部分を占める、ゼリー状の透明な組織です。
- ⑪ 網膜の神経線維が集まっている組織です。
- ⑫ 網膜に映った視覚情報を脳に伝える神経です。
- ⑬ 感じた光を電気信号に変えて脳に送ります。